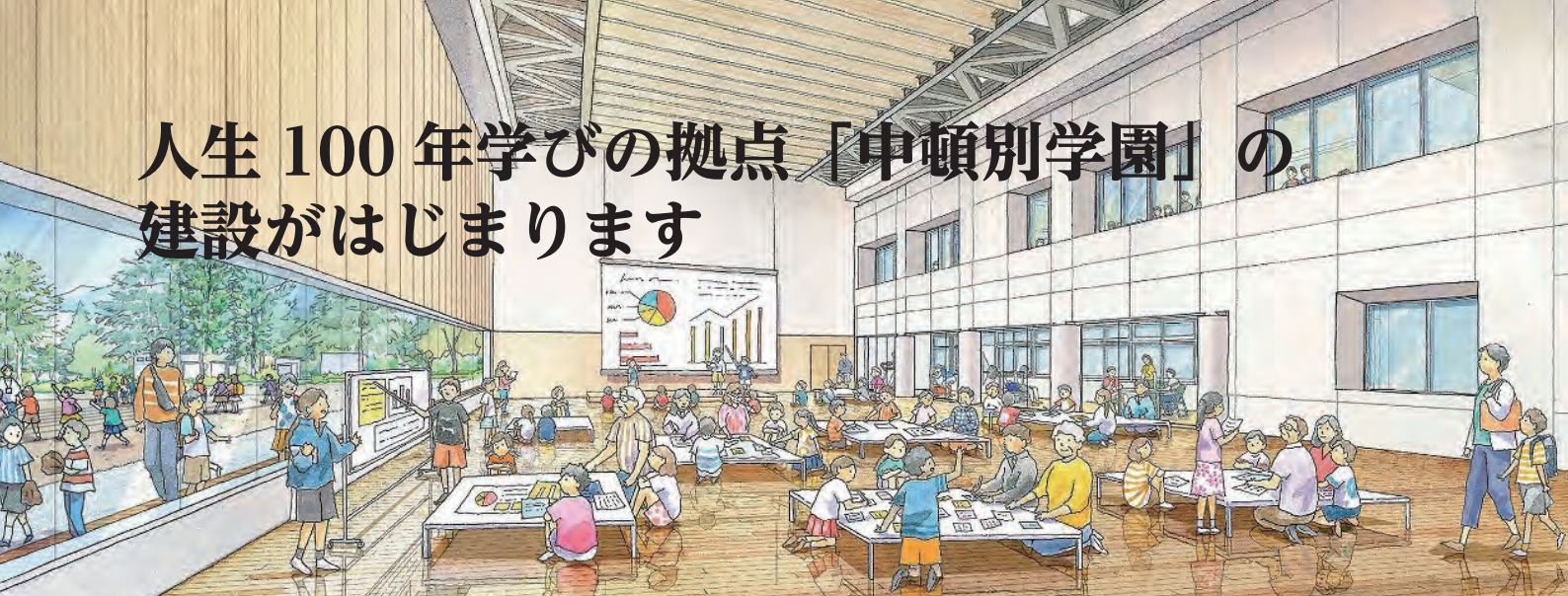


人生100年学びの拠点「中頓別学園」の建設がはじまります



建設工事契約を締結

人生100年学びの拠点「中頓別学園」の建設工事契約が締結され、4月から工事が始まります。事業費は53億2,730万円で、荒井・細谷特定建設工事共同事業体（代表・荒井建設株式会社代表取締役・荒井克典）が受注、工期は令和9年3月31日までとなります。

これまでの経緯と事業費

本工事について、昨年から2度の入札を行いました但不調となりました。理由は、入札額が予定価格を大幅に上回ったことによるものです。このため、3月13日に開催された臨時議会で、工事費における債務負担行為の上限額を46億3,410万円から53億2,730万円に変更する補正予算案を議決いただき、これに基づいて随意契約を締結、同月24日開催の臨時議会でこの契約が承認されました。議決はいずれも賛成が4名でした。全国的に建設需要が増えるなかで人材確保が難しく、資材費の高

騰も重なり建設物価の大幅な上昇が続いています。工事の着手をこれ以上遅らせると契約機会を失いかねないこと、今後も建設費の大幅な上昇が見込まれることから、法令の規定をもとに随意契約を行うことにしたものです。

建設費の高騰について、多くの方々から財政面のご心配をいただいております。補助金や地方交付税などの財源を最大限活用して負担を最小化し、これまで同様に町民サービスの維持を図りながら健全な財政運営に努めます。

町の負担額は総事業費のうち国からの補助金を除いた町債の金額となります。町債はその年に償還する元利償還金の70%が地方交付税により措置されるため、残りの30%が実際に町で負担する金額となります。

町債の返済期間は23年で、最初の3年間は利子のみ、その後の20年で元金と利子を償還し、令和31年に終了する見込みです。

総事業費 53億2,730万円		
国庫支出金 (学校施設環境改善交付金、公立学校施設整備負担金) 約11億円	町債(過疎対策事業債) 約42億2,730万円	
	地方交付税措置分 (町債の70%※) 約29億5,911万円	町費負担 (町債の30%) 約12億6,819万円

※過疎対策事業債はその年に償還する元利償還金のうち70%が地方交付税により措置されます。

「中頓別学園」とは

中頓別学園は、小学校と中学校を統合した義務教育学校を核に、町民センターや図書室、給食センターをまとめた複合施設です。令和3年度に基本構想を策定し、文部科学省の「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」の採択を受け、令和5年3月に基本計画をまとめています。

基本構想では、「大人が学ぶことを本気で楽しむ環境で子どもも学ぶ」という考え方のもと「共生」「好奇心」「共創」の循環を教育理念に据えています。幼小中一貫教育を軸とした義務教育学校を中心に、人生100年時代を支えるすべての町民のための学びの拠点として位置づけています。

建物の面積は、体育館を除いて6,506㎡であり、そのうち約30%が教室などの学校専用のエリアとなります。それ以外は美術室や音楽室など町民も使うことができるスペースであり、

図書室機能を持つスペースは常に開放され、子どもプランなど放課後の活動もここで行われます。また、給食センターも施設内に入り、ランチルームでは子どもたちが集まってできたての給食を食べることができます。

中頓別中学校で始まる新学期

新しい学園は、今の小学校の校舎を増改築して建てることになるため、4月から小学生は中学校の校舎に通学することになります。中学校校舎は、小学生が安全に学校生活を送れるように改修工事を行っております。新しい学園の完成前から小中学生が同じ校舎で学ぶことになり、令和8年度から義務教育学校に移行する予定となっています。

教育を核としたまちづくり

中頓別学園は、人生100年時代の学びの拠点です。社会や経済をめぐる環境が大きく変化している中で、子どもはもちろん、大人も含めて学び続ける機

会の確保が大切です。そのためにも、自分のやりたいことや好きなことを見つけ、人生100年を楽しみながら生きていくための拠点として中頓別学園が、そうした役割を担えるよう多くの町民が交流できる場となるための活用や運営面の充実を目指していきたいと考えています。

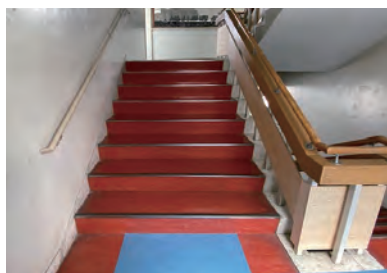
義務教育学校は、子ども一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない幼小中一貫の教育を実現するよう準備を進めていきます。

町民とともにつくる学園へ

中頓別学園は、構想段階から多くの町民の皆様のご意見をいただきながら進めてきました。これからそうした機会を作りながら多くの方々に利用していただける施設にしていきたいと考えています。

引き続き広報などでお知らせしていきますので、ぜひ、ご参加くださいますとともにご意見をお寄せください。

中学校の主な改修点



階段に落下防止パネルと低い位置に手すりが設置されました。



玄関のドアを児童も使用できるように軽いものに取り換えました。



トイレを全て洋式化し、手洗い場には踏み台を設置しました。